

## BPファシリテーター体験記 宮崎県宮崎市

# 切れ目ない働きかけをめざして

NPO 法人ドロップインセンター 久保 千乃

### 手薄なところがあるなあ

「これだ！」ある講演会に行き、ある一言が耳に留まりました。『赤ちゃん版のNP講座みたいなものですが…』たぶんこういうふうには話されていないと思うのですが、とにかくピンとききました。家に帰り炊事をしながら、スマホで（赤ちゃんNPと）検索をかけたところ、『親子の絆づくりプログラム 赤ちゃんがきた！ こころの子育てインターねっと関西』とヒットしました。

内容を読んでいくと、私が所属する子育て支援団体（NPO 法人ドロップインセンター）として支援の流れで、最近特に何かあったらいいなと感じていたものがそこにありました。

当団体は、宮崎市で11年前に発足し、現在、児童館（児童クラブ）1館地域子育て支援センター2か所、出張広場2か所を受託運営しています。『セカンドステップ』を児童クラブで実施し『ホームスタート・みやざき』としても活動を行っています。中でも『Nobody's Perfect (NP)』は初開催より10年がたち、親支援の講座として認識が広がっており、運営している地域子育て支援センターの中で親子講座の一つになっています。私はNPのファシリテーターではないのですが、お電話でのお申し込みを受け付ける時、ここ数年申し込みされる方のお子さんの年齢が低く、お一人目が1歳未満児さんの参加者も多くなってきていました。仲間作りにはいいのですが、お子さんの年齢の差が大きくなると問題が身近なものとして共有できなくなったり、聞き役だけになったりといういろいろなことで考えなければいけないね、と事務局でも話していたところでした。そして地域子育て支援センターでさえも、初めてのお子さんの時は敷居が高く感じられる方も多く、そこに出かけるまでに勇気が必要という話を聞く事がありました。

またそれまでの認識として、そこを結びつけるものの一つが『ホームスタート』であると考えていました。しかし乳幼児健診でアンケートをとってみると、『ホームスタート』を利用したいと考える方は、地域子育て支援センターを利用している人の方が割合として高く出たのです。地域子育て支援センターにたどり着くまで、またはNPを紹介できるまでが少し手薄いところだな、そう感じてきていた矢先だったのです。

### 壮大な気持ちを支えになり

BPプログラムを定期的に行えれば産後すぐから、



いえ妊婦さんにもいろんな働きかけができる、きついときは声をあげていいんだよ、と早くから伝えることができる、そしてつながった支援ができる、そう思えました。宮崎県ではBPプログラムは未だ行われておらず、県全体で考えてもBPプログラムが広がれば、地域で子育ての良さがもっと発揮できるのではないかと、できれば養成講座自体を行いたい！ 受講前にも関わらず、そんな壮大な（？）気持ちも支えになり、それまでの私からすると、とっっても大きな1歩を踏み出しました。

どちらかという今まで親子講座やNPなどの講座やプログラムでは、広報をしたり受付をしたりする側だったので、ファシリテーター（Fa）というものは今までやった事はありません。でも何とか宮崎でと、事務局と相談し思いきって参加させていただくことにしました。幸いにも東京開催の養成講座にまだ空きがあった為、申し込み書類を送付したところ、すぐにお返事を頂きました。それがちょうどBPファシリテーター養成講座開催1か月前でした。

### 聞き逃さないように

年末年始を迎え年明けすぐの講座でした。ただでさえ東京に行くのが25年ぶりという状況の中、地図代わりに必需品スマホを片手に握りしめ会場に向かいました。

講座ではアイスブレイクから、参加者集めの方法や計画立て、プログラムの実際と本当に中身の濃い2日間でした。しかし1回2時間の講座を“自分”が進めていくということに実感がわかないままでしたが、参加者の皆さんになんとかついていき、帰ったら実施するのは一人で誰も頼れないという怖さもあり、講師の言われることを聞き逃さないようにするのが精いっぱいでした。終了してもあと1～2日間ぐらいじっくり教えて頂きたいと感じた2日間でした。しかしこういう全国的な養成講座に参加したことは今までなく、宮崎からも出たことがない私には、さまざまな地域からの参加者の皆さんと出会ってお話すること自体が新鮮で励みになりました。

振り返ってノートを見返してみると、一番初めにFaとはどんな人という質問事項に“黒子である”と赤字で記入しています。この言葉が私が初めて行ったBPプログラムの終了時には、芯として、根っことして、そして大きな励みの言葉になったことにその時はまだ気づいていませんでした。

帰って来てからはBPプログラムをいつ行おうという事を背中に背負いながらも、年度末年度初めの忙しさから、気持ちの上でもなかなか専念して取りかかることができず、また一人で行うことに、

## とにかくFaガイドに沿って忠実に

も不安だけが大きくなっていきました。そんな中熊本でBPプログラムが開催されることを知り、見学をお願いしました。3回目の内容を1時間半ほどの見学でしたが、何か背中を押してくれた気がしました。それはママ達の笑顔と「ここでの出会いがあつてよかった」と話された参加者の一言だったかもしれません。

### 眠れない夜をすごして

平成27年度が始まりひと段落ついた頃、やっばり募集に2か月は欲しいと思い5・6月で募集を行う7月の開催を決めました。初めは団体の自主事業として行う予定でしたが、地域子育て支援センター内での親子講座の中に組み込んで頂くことができました。募集告知は、当団体ホームページや宮崎県の子育て支援情報のページへのweb掲載、実施する子育て支援センター周辺の産婦人科7か所、小児科6か所、商業施設2か所にポスター掲示とチラシをお願いし、宮崎日日新聞別冊の生活情報誌にも募集掲載をして頂きました。新聞の幅広い広報の効果もあり、キャンセル待ちを含め14組の参加希望が寄せられました。

約2週間前に先着10組の方に、準備物や地図を記入した用紙などを郵送しました。特に参加者が決まっからは、実施の現実味がひしひしと感じられ、緊張しても最低限伝えなくてはいけないことは話ができるよう、自分なりのセッション計画表を作っていました。Faガイドと追加ガイドを見比べながら、3度ほど試行錯誤して書き直し、どうしたら緊張してももしっかり組み立てていけるか工夫して行きました。家では模擬進行を行い、実施会場では機器のチェックとホワイトボードやシートの配置、受付時の打ち合わせと考えられることは前日までに行いました。そして眠れない夜を過ごしながらも、担当BPサポーターの励ましを力に初回当日を迎えました。

### 頭が真っ白

しかし初回からトラブルの連続で、モニターが映らないという機器の不具合や、10時の開始時間になっても半分の方しか来ていない、始まってすぐに赤ちゃんのうんちが敷いていたシートまで漏れてしまい、掃除も必要になりそのうえ着替えをお持ちでなかったという想定外の連続で焦って頭が真っ白になってしまいました（着替えは偶然その方の夫がお休みということでもってきていたのですが、時間の計算もできない事態に陥りました。とにかくセッション計画表とにらめっこし、笑顔だけはと思い直し進めていきました。というよりこなしでいった、消化していったというほうが近いかもしれません。実は初回はどうしても緊張が最高になることを予想して、計画表は本当に細かく、話す言葉通り一言一言一字一句作文のように書き

出していました。しかしあまり細かく文章で書きすぎると頭が真っ白になった時、今どこを話しているのかわからなくなり、反対にポイントがわからなくなるという笑い話のような反省が残りました。回を重ねるごとに、担当BPサポーターの励ましや助言も参考にしてセッション計画表を書き直し、時間配分と忘れてはいけない伝えることを見やすくし、今日のテーマは何かを根幹に進められるよう自分なりの改良を行っていきました。

### 参加者の持っている力に感謝

しかし回が進んでも緊張は解けず、Faガイドに忠実にという事だけを考えてとにかく進める、という形で実施して行きました。練習をし、抜けなく書き出したにも関わらず、後で気付くと緊張のせいかメモしていても目に留まらず伝え忘れていたり、順番を逆行しておうとしてまた焦ってしまったりと、第2回目までは本当に充実感もなく、迷いと不安と落ち込みと疲れだけしか残りませんでした。それでも参加者はこの場があることをとてもうれしく感じてもらっていたようで、お友達作りの楽しみだけではなく、子育てに対する誇りと子育てという貴重な時間を大切にしようという気持ちを話してくれました。参加者の持っている力に感謝するとともにこのプログラムが本当にとてもよく考えられていることを実感しました。まずは、とにかくガイドに沿って忠実に行うと結果うまく進んでいくことが、まだ感覚としてですが理解できました。一番感じたことは、黒子に徹するという事はプログラムの始める前は、「黒子でいいのだ」という私の励みだったのですが、終わって感じたことは、「黒子でなければならぬ」というFaとしての持つておくべき姿勢なのだということにたどり着きました。反省だけしか残らない今回でしたが、ママ達がお子さんの成長の事や繋がっていくことの楽しさをニコニコしながら話してくれている時間がとてもうれしく励みになりました。Faなんて柄ではないなと思いつつながら養成講座を受講し、私でいいのだろうかと思いつつながら実際プログラムも行いましたが、早く次回をやってみたいと思うようになりました。もっと下準備や予行練習を丁寧に行い、1つでも自分なりに満足していくステップアップができるようになりたいと思います。

今後もコンスタントに実施できるようになると、子育て支援としての働きかけが切れ目なく継続して



ので、それをめざして頑張っていきたいと思えます。また、同時に宮崎でも理解が広がり養成講座を開くことができるよう、様々な方面へ働きかけていきたいと思えます。